

宇治市歴史資料館の展示内容の見直しについて

宇治市歴史資料館では、昭和 59 年の開館以来、常設展示は行わず、年に数回、特別展を含む企画展を開催してまいりました。

また、開館以降、『宇治市史』編纂における歴史学と地理学の協同という基本方針を受け継ぎながら、市域の歴史と文化を知る上で欠かせない歴史資料の収集・保存に努めてまいりました。

その数は現在約 2,300 件、約 28,000 点になりましたことから、令和 3 年度からは、展示内容を見直し、展示室においては、30 年以上にわたり収集・保存してきた所蔵品等を展示する「常設展示」に移行いたします。

併せて、収蔵展示室を活用して、企画展を年数回開催いたします。

特別展につきましては、宇治市源氏物語ミュージアムの特別企画展と交互に隔年開催とし、令和 3 年度は、お茶と宇治のまち歴史公園のオープンが予定されていることから、宇治市源氏物語ミュージアムにて、八幡市立松花堂庭園・美術館と共催で、特別企画展を開催いたします。

記

・常設展示の内容について

宇治市は市域東部に山間、市域中央部に平野、そして、かつては市域の西部の小倉、伊勢田と接していた巨椋池がありました。各々の地域では製茶や稲作、漁労などといった地理的環境に即した生業を行っていました。

このように宇治市は、同一市域にあって、山間、平野、水辺の生活が営まれていたという特徴を有しています。

常設展示では、この三つの空間における人々の営みに焦点をあて、民具や当時の様子がわかる写真などを中心に展示します。

宇治の茶づくり

巨椋池の漁業

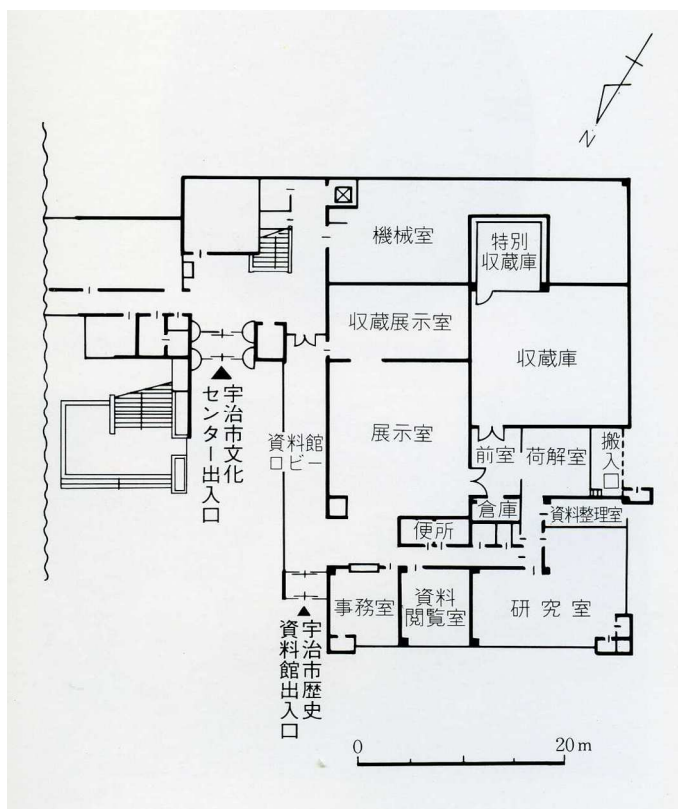
巨椋池干拓と米づくり

・今後の日程について

～ 令和3年4月18日(日) 企画展「ちょっと昔の街と暮らし<後期>
ひな人形と五月人形」「発掘ものがたり宇治・2021」最終日
令和3年4月20日(火)～ 展示資料の撤去及び常設展示への展示替え
令和3年6月8日(火)午前9時～ 常設展示(展示室)及び
令和3年度第1回企画展(収蔵展示室)開催

なお、常設展示への展示替えに伴い、令和3年4月20日(火)から6月7日(月)までの期間は、展示室及び収蔵展示室は休室いたしますが、展示以外の事業につきましては、通常の開館日及び時間に合わせて、通常通り行います。

歴史資料館平面図と各室面積



展示室	190.95
収蔵展示室	93.61
収蔵庫	183.32
特別収蔵庫	48.64
資料閲覧室	48.84
事務室	46.91
研究室	129.81
資料整理室	19.75
ロビー	107.51
その他	209.44
計	1,078.78
共用部分 (公民館・図書館等との共用)	188.63
合計	1,267.41 m ²